

# 愛は勝つ

美祢市立美東中学校 学校だより  
令和5年8月号



(Web サイト)

## 「一点突破 あいさつ・礼儀」

1学期が無事終了しました！笑顔と活気にあふれた学期でした！ありがとうございました！

・3年生の修学旅行や慶應義塾大生との交流学习、2年生の職場体験学習、1年生のAFPYによる学級づくり活動や認知症サポーター講座の受講、部活動での活躍や生徒総会、クラスマッチや地域の方の御協力による花育活動等、この1学期には、本当に様々な行事がありました。そんな慌ただしい1学期でしたが、生徒の皆さんは、とても生き生きと活動して、活気のある美東中の学校づくりに皆が協働して取り組みました。なかでも、3年生が修学旅行中に人命救助を行ったことは、美東町のみならず、美祢市民や山口県民にも大きな関心事となって伝えられ、「美東中ここにあり」を示してくれました。大変誇りに思います。また、保護者や地域の皆様には、本校の新たな教育の推進に対しまして、御理解と御協力を賜りまして、大変ありがとうございました。体育祭や文化祭が控える2学期も、これまで以上に生徒が主体となって、生き生きと輝く美東中の学校づくりに邁進して参ります。今後とも、御支援・御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

なお、今月の学校だよりから、学校の様子や生徒の生き生きとした表情等をお伝えする写真等は、本校のホームページで随時お伝えすることといたしました。よろしくお願いいたします。今月は、新規採用教員である清水養護教諭の「山口県教育」への寄稿文を紹介します。



「大丈夫」

美祢市立美東中学校

養護教諭 清水 和佳奈

私は、養護教諭に正式採用されるまで7年かかりました。今、子どもたちの笑顔を目の前にして、あきらめず続けてきて本当によかったと思っています。くじけそうになったとき、いつも大切な人の「大丈夫」の言葉に支えられてきました。私にとって、臨時的任用教員として働いた7年間は宝物です。とくに、山口県に来て勤めた中学校では、尊敬する上司や先輩教員、大好きな生徒たちに出会うことができました。たくさんの学びと経験ができたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。

4月に新規採用として赴任した本校は、全校生徒87名の小規模校です。小中一貫教育推進校、部活動改革推進校であり、日頃から小学校や地域の方との交流が盛んです。「あいさつ的美東」を掲げ、明るい子どもたちからは元気をもらっています。しかし、ゲームやスマートフォンを中心に、生活習慣には課題があります。美東地域では、小中合同で実施する生活習慣チャレンジや学校保健委員会があるので、連携して生活習慣改善の取組に力を入れています。また、思春期である中学生はさまざまな悩みを抱えています。大切

にしたことは、子どもの話をよく聴き、心に寄り添うことです。問診をしながら、生活をふり振り返り保健指導をしたり、悩みについて一緒に考えたりする一対一の時間を、とても大切にしています。何が大切か、どんな対応が必要かを考え、時には叱咤激励しつつ、いつでも見守っているよ、困ったときには支えになるよ、そんな思いで「大丈夫」を伝えていきます。そして、少し元気になった様子で教室に戻る子どもの後ろ姿を見るのが、私のやりがいです。

「君にとっての『大丈夫』になりたい」大好きな曲の歌詞ですが、わたしも、子どもたちにとってそんな存在の養護教諭になれるよう、成長していきたくいです。



保健室での問診の様子